

2020年度 SYLLABUS 【博士前期課程】

授業科目名：自治体政策論特論	
担当教員名：遠藤哲哉	
<p>授業科目概要：</p> <p>近年、ガバナンス（共治）及び地域経営がキーワードになってきている。そこで、本科目では、ガバナンス時代における地域経営を大きなテーマに、組織マネジメント、リーダーシップ、ネットワーク等に関わる諸政策、その中でも特に成功する組織ネットワーク戦略や“コミュニティ・キャピタル”の可能性について検討を加える。この分野は、地域社会論や地域行政論、さらにコミュニティ社会心理学等の境界領域であるが、従来まで十分研究されてきていたとはいえない。新しい観点を踏まえて、地域創生時代に相応しい地域政策のあり方に迫る。</p> <p>ガバナンス時代の地域経営において、求められる地域イノベーションの創発プロセスを検討し、「組織ネットワーク戦略」やその実践的方法、政策評価の課題を模索していく。</p>	
<p>履修上の留意事項：</p> <p>自治体政策全般及び地域経営に関心があることが望ましいが、上記の科目について部分的に関心のある場合であってもかまわない。様々な理論やケーススタディからアイデアを得て、実践的研究を深めるという方法を重視している。多様な学生が集まり議論を深める方法をとる。テキストは、『遠距離交際と近所づきあい～成功する組織ネットワーク戦略』及び『ソーシャル・イノベーション』とする。ただし、受講を希望する学生の皆さんと相談しながらテキストや進め方を決めていきたい。</p>	
教科書・参考書（参考文献）	
<p>書名：遠距離交際と近所づきあい～成功する組織ネットワーク戦略</p> <p>著者／編者：西口敏広</p> <p>出版社：NTT出版</p> <p>出版年：2007年</p>	<p>書名：ソーシャル・イノベーション</p> <p>著者／編者：野中郁次郎他</p> <p>出版社：千倉書房</p> <p>出版年：2014年</p>
<p>書名：Balanced Scorecard Step-by-step for Government and Nonprofit Agencies</p> <p>著者／編者：Paul R. Niven</p> <p>出版社：John Wiley& Sons</p> <p>出版年：2003年</p>	<p>書名：公共部門評価の理論と実際</p> <p>著者／編者：古川俊一、北大路信郷</p> <p>出版社：日本加除出版株式会社</p> <p>出版年：2004年（新版）</p>
<p>書名：公共部門の評価と管理</p> <p>著者／編者：山谷清志（編著）</p> <p>出版社：晃洋書房</p> <p>出版年：2010年</p>	<p>書名：自治体の外部評価</p> <p>著者／編者：小島卓弥</p> <p>出版社：学陽書房</p> <p>出版年：2010年</p>
<p>評価方法及び判定基準：</p> <p>毎回の授業参加の程度、内容、また期末レポートを含めて総合的に評価する。</p>	
<p>授業目標及び進め方：</p> <p>授業では、『遠距離交際と近所づきあい～成功する組織ネットワーク戦略』及び『ソーシャル・イノベーション』等の文献を読み、レジュメに基づいて、発表。それに基づいて議論を行うことを中心に実施する。</p>	

◆ 授業進行計画

第1回 ～ 第5回	<p>テーマ： コミュニティ・キャピタルの可能性～『遠距離交際と近所づきあい～成功する組織ネットワーク戦略』を紐解きつつ</p> <p>内容： テキストを読了しつつ、コミュニティ・キャピタルの可能性を吟味検討する。</p> <p>教科書／参考書 『遠距離交際と近所づきあい～成功する組織ネットワーク戦略』</p>
第6回 ～ 第11回	<p>テーマ： 草の根イノベーションの創発～『ソーシャル・イノベーション』を素材に</p> <p>内容： 地域経営において、如何に地域イノベーションを創発していくかが、今後の地域振興には重要である。その際、ソーシャルキャピタルではなく、コミュニティレベルでの信頼醸成とネットワークの可能性が議論される。特に文献を読みつつ、この点について検討を行う。</p> <p>教科書／参考書 『ソーシャル・イノベーション』</p>
第12回 ～ 第15回	<p>テーマ： Balanced Scorecardの応用～ Balanced Scorecard Step-by-step for Government and Nonprofit Agenciesを素材に</p> <p>内容： 最初に、バランススコアカード他の理論と手法を理解するため、米国等で活用されているバランススコアカードの行政適用事例とその基本コンセプトを検討する。</p> <p>最後に、日本のケースを用いながら、どのような理論及び手法を用いて実践することが可能か、これまでの検討を振り返り、援用しつつ議論する。ガバナンス時代における外部評価の実際と課題を整理し、将来展望を検討する。</p> <p>教科書／参考書 Balanced Scorecard Step-by-step for Government and Nonprofit Agencies</p>